

新年度開講「重要な1学期」のはじまり

3月7日から新年度が開講し、それぞれの生徒は1学年進級いたしました。学校ではまだ中2の生徒が塾では新中3になっていますので少々戸惑う場面も見りましたが、例えば新中1生ではいよいよ「数字で評価される時」がやって来たことを自覚させて授業をスタートしました。ひとりひとりの生徒の真剣な眼差しに私たちも身の引き締まる思いを感じました。

特に新中3生にとっては「これまでで最も重要な1学期」となります。

①「行きたい高校を決めること」 ②「必要な通知表評価を知ること」
③「今やるべきことを自覚すること」 これら3つのことを認識できれば志望校合格に向けて突っ走ることができます。1学期に必要な通知表数値に達した生徒は8割以上公立受験で成功します。達成できなかった生徒に残された期間が2学期と考えて下さい。365日後には進学先が決まっています。

| 3.4月のおもなスケジュール | | |
|----------------|---|-------------------|
| 3/26 | 土 | 3月度 授業終了 |
| 28~ 4/2 | | 春期講習 (新小4~新高1) |
| 4/3 | 日 | 春期公開模試(新小5~新中2) |
| 4~6 | | 【休室/教室移転】 |
| 6 | 水 | 春期公開模試(新中3) |
| 7 | 木 | 新教室にて授業開始 |
| 9 | 土 | 中3面談期間 |
| 16 | 土 | 特進館学院やる気UP講座 |
| 23 | 土 | 中3保護者会 |
| 29 | 金 | 昭和の日【授業あり】 |

入試問題の変化

今回は新高校生も含めて、大学受験に向けた情報をお伝えします。

最近話題になっている大学入試改革はご存知でしょうか。少しずつ求められている力が変わってきているのです。具体的には、記述力と思考力です。今までのような暗記した知識をただ問うだけの問題ではなく、自分で答えにたどり着く道筋を考え、言葉で表現することが必要となる問題に切り替わっていきます。

この変化に対応するためには、早いうちから「なぜそうなるのか」「何を表しているのか」という部分を意識しながら勉強することが必要となります。そして、この変化は少しずつ高校受験にも迫ってきているのです。〔金子祐太〕

新教室 塾生・保護者 先行 内覧会を行います



保護者の皆様のご要望にお応えして、新教室開校前日に内覧会を行います。

4月6日(水)16時~20時
新教室にて【ご予約不要】

本部事務局より

4月分学費の振替日は、3/28(月)となっております。

3/28日(月)より春期講習が実施されます。お子様を通じてお知らせをお渡ししておりますが、再度同封しておりますのでご確認ください。講習費につきましては当学院指定口座までお振込みいただけますようお願いいたします。

ご不明な点等ございましたら、本部事務局〔☎079-563-0300〕までお問い合わせください。

子どもたちの将来が見える…?

30年以上子どもたちの指導にあたっていると、彼らの「将来がちらっと見えてしまう」ことがよくあります。当学院の年間スケジュールで、『やる気UPセミナー(年2回程度実施)』という恒例行事があり、私はその中でよく生徒たちに、「君たちは、将来どんな職業に就きたい?」という質問をします。

子どもたちの回答は、現実的なものから壮大(?)なものまで多種多様。しかし、それらは大きく3つに分類されることがわかります。

一つ目は、『リーダー職』。総理大臣・社長・監督などの「指導者」になりたいというもの。二つ目は、『クリエイター職』。建築家・科学者・アニメーターなどの「ものを創る仕事」。最後に『オペレーター職』。事務職・整備士・ドライバーなど、「指示に従って働く仕事」となります。

どれが良い悪いという区別はないのですが、それぞれの生徒によって、質問の言い方には共通点があります。リーダー職の生徒は、「〇〇していいですか?」と決め打ち。クリエイター職の生徒は、「どちらがいいですか?」と選択を求める型。オペレーター職の生徒は、「どうしたらいいですか?」と、私たちに答えを求める型です。

彼らの言葉で、「将来がちらっと見える」。何だかちょっとおもしろいと思いませんか?〔北村昌弘〕



編集 後記

暖かくなったり、寒くなったりを繰り返しながらようやく4月を迎えますね。新しい年が始まって早3ヶ月、年始めに立てた計画を少しずつ実行に移せているでしょうか?「目標は大きく!」とも言いますが、うちの子はそれほど大きくもない今年の目標をすでにあきらめかけているようで…。4月も区切りの時期です。目標や計画を見直し、実現できるようにもう一度自分で考える時間を持つてほしいものです。